

第1回講座「自然観察/自然の見方」 私市植物園

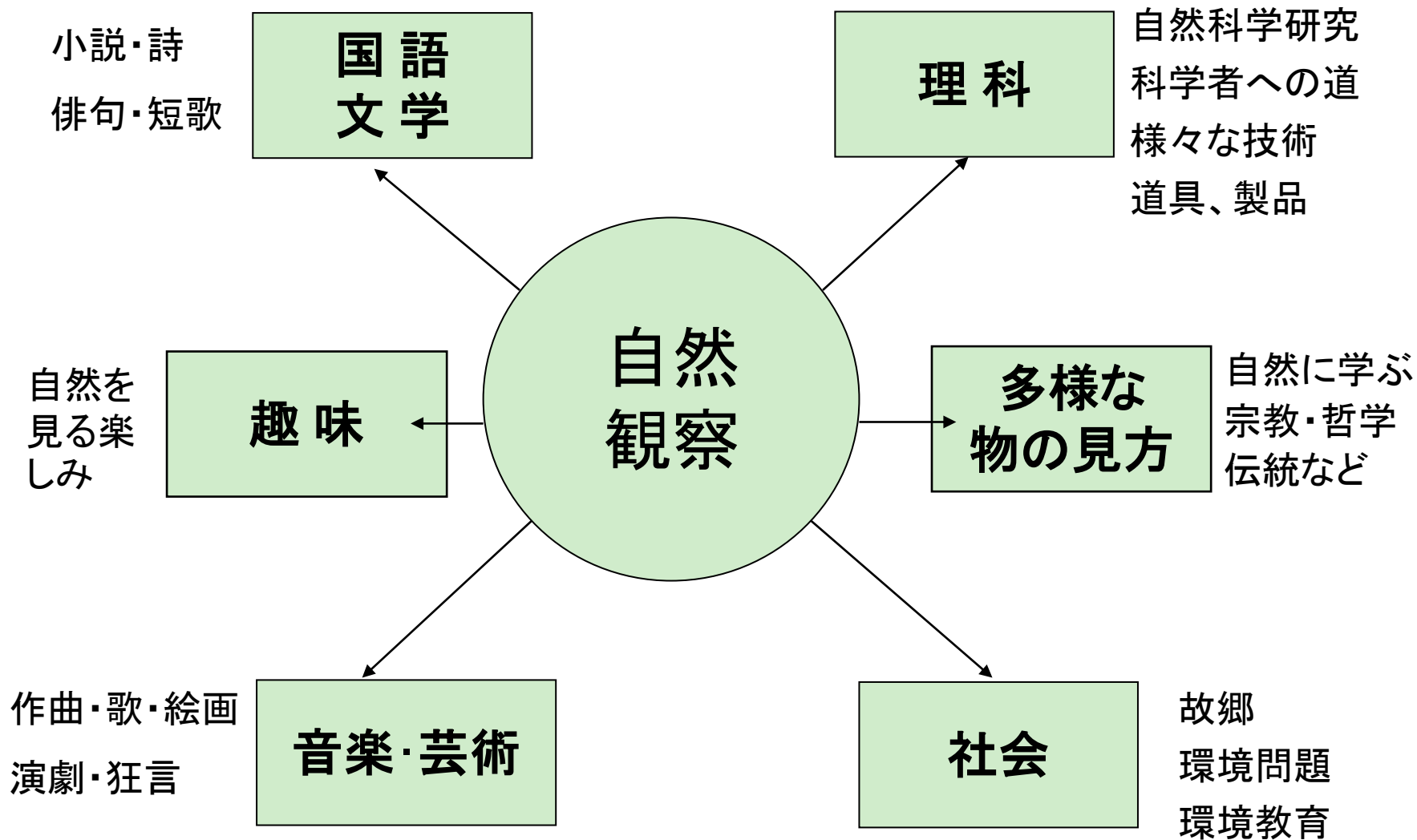
1. 観察とは

物事を良く見て本質的なことを知る

「見る」:眺める、目で存在をとらえる、視野に入れる

「観る」:真理を見る、道理をみる

2. なぜ自然観察をするのか？



自然観察は色々な道に通じている

3. 自然の見方

1) 五官(五感)で感じる : Sense of wonder :Rachel Carson

目、耳、鼻、舌、皮膚(視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚)

*動物(人)は相手(対象)が何であるか知ろうとする時、
自らの五感をフルに働かせてそれを確認しようとする

*五感で感じて自然を見れば 知識ではなく 体で自然が分かる

2) 全体を見る目/細かく見る目(鳥の目/アリの目)

遠くから全体を見る/近づいて見る(上下左右)/生き物の気配など

3) 一人の目より多くの目/発見したものを紹介する

見る目が増えると発見が増える

4) (動植物の)名前を知ることによってこだわらない

名前を知ると分かったような気になる/身体で自然を知ることが大事

4. 自然観察で伝えたいこと

1. 自然の不思議や面白さを五感で感じて楽しむ

2. 自然と自然の関係

自然の仕組み・役割・生き物のつながり

3. 人と自然のつながり

自然や生き物の歴史・自然の怖さ・恩恵・利用・自然から学ぶ)

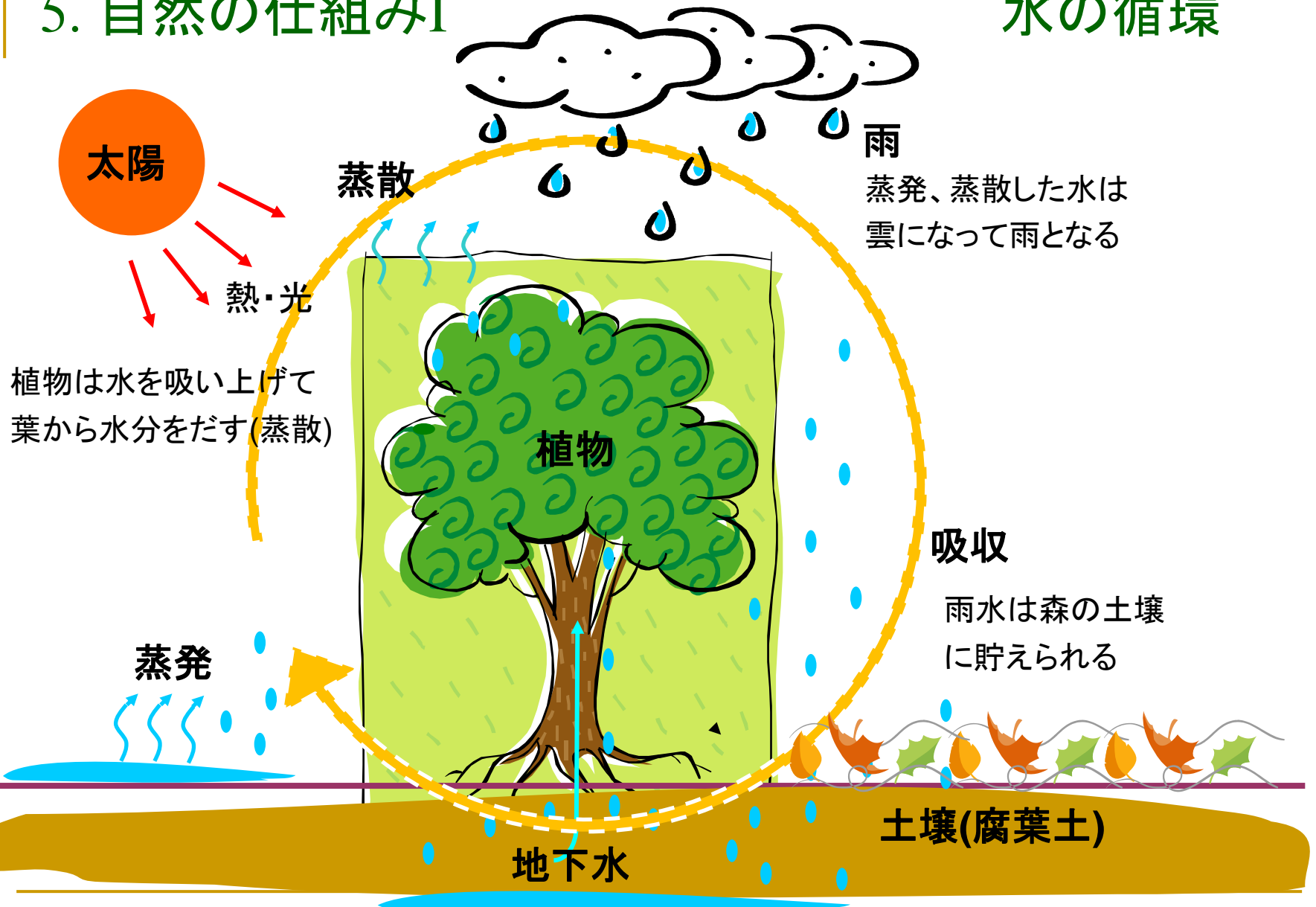
人は自然の美しさや、不思議さ・面白さを発見したり
楽しい経験をするをくり返して自然のことを知る

そして自然が自分の身の回りにあることを実感できるよう
になって始めてその大切さに気づき守ろうと言う気になる

自然に親しむ → 自然を知る → 大切にできるようになる

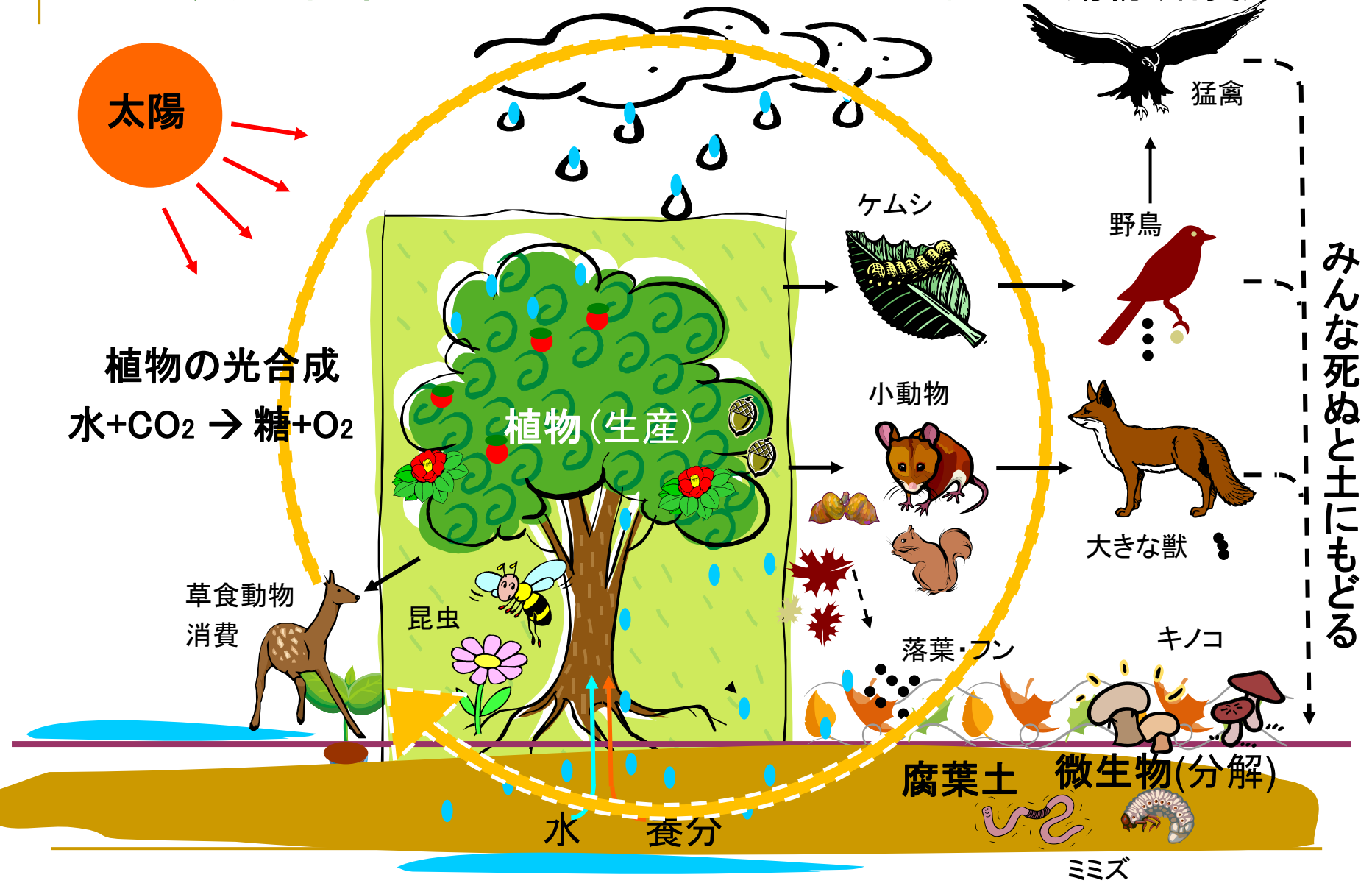
5. 自然の仕組みI

水の循環



水は地上と空を循環している

6. 自然の仕組みII 生きもののつながりと循環



生きものはつながって生きている